

2020年度 第3回Salon De 大学コンソーシアム大阪(2021年1月20日開催)

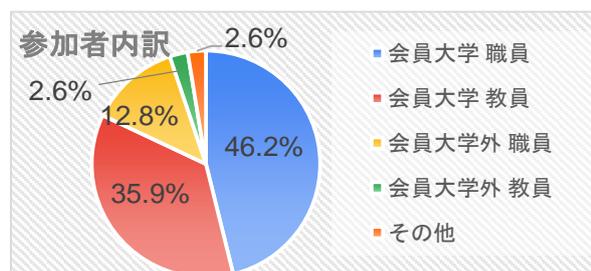
参加者アンケート結果

回答者数34名/参加者数39名 回収率87.2%

【参加者内訳】

会員大学 職員	18
会員大学 教員	14
会員大学外 職員	5
会員大学外 教員	1
その他	1
合計	39

【その他】・就労支援を行う法人

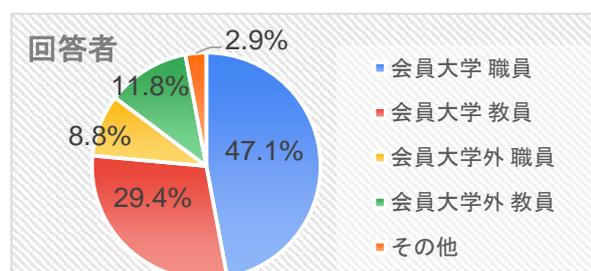


1. 回答者について

会員大学 職員	16
会員大学 教員	10
会員大学外 職員	3
会員大学外 教員	4
その他	1
合計	34

【その他】・就労支援を行う法人

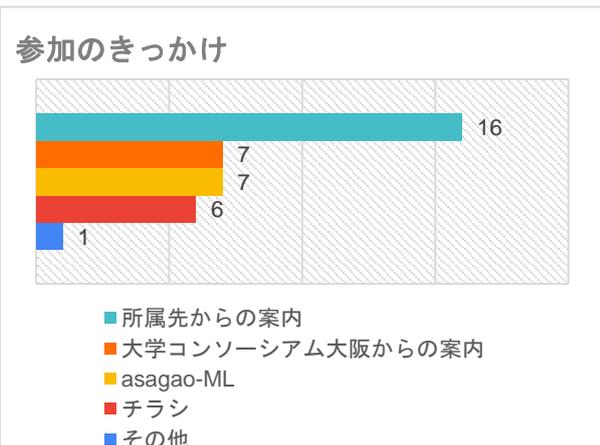
※回答者の分別は回答結果に基づく



2. 本サロンを知ったきっかけ(複数選択可)

所属先からの案内	16
大学コンソーシアム大阪からの案内	7
asagao-ML	7
チラシ	6
その他	1

【その他】・研修推進委員会に所属



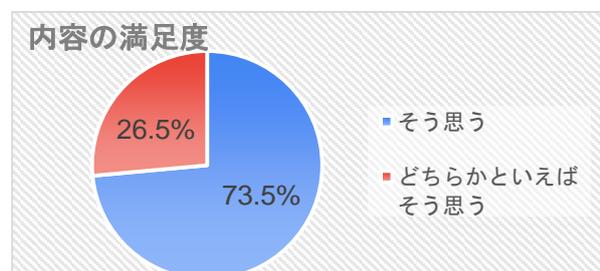
3. 参加理由

・発達障害のある学生支援に関心があった。
・発達障害のある学生支援の現状を知りたかったため。
・発達障害の学生に対しての支援策を聞きたかった。
・FD・SD講演会にて障害のある学生への対応の話を聞き、興味をもったため。
・発達障がいのある学生に対する合理的配慮について、知りたいと思ったため。
・大学(組織)・個人として必要なことであり、コロナ禍におけるオンライン(リモート)での支援を参考にさせていただいたため。
・今回のテーマに興味があったため。特にオンラインでの学生にどう接していくのか、どう支援していくのか など
・オンライン授業下の発達障害学生支援について支援方法をお伺いしたかった。
・発達障害の学生の就職支援についてまだまだ不勉強なため。
・異動したばかりで、様々な情報や知識を得たかった。
・障がい者の方に寄り添った支援はどのようなものがあるのか。根本を理解するために参加しました。
・障害学生支援に関わっているため。
・現在、学生と関わる部署で仕事をしており、今回のセミナーに参加し、自分で何か少しでもできることがあればと思ったからです。
・外国語学習支援室の運営を担当しており、今まで以上に障害学生へのサポートの実態や方法について知っておく必要を感じた。
・今後、障がい者支援に注力していくにあたり知識不足と感じたため。
・発達障害の学生への支援体制の構築に向け、情報や基本的なことを学びたいと思った。
・所属部署(地域連携ボランティア)などの業務で理解しておくべきと考えたから。グループディスカッションがなかったから。
・小規模、地方大学で限られたリソースの中、どのように支援を行うか試行錯誤しているため。
・職場からの案内があり、職場である大学で身近となりつつあるテーマであったため。
・発達障がい学生への支援をどのようなプロセスで組織的に行っているかを知りたかったから。
・就労支援段階での連携に活かさないかと考えたためです。
・実際に対応に苦慮している学生がおり、内容に興味があったから。
・修学上の問題を抱えている学生が自分のゼミにも所属するようになったため。
・身近にも発達障害と思われる学生が増えている事から。
・日頃接する学生で発達障害を持っていると思われる学生が増えていると感じていますが、どのように接することが適切で、どう対応すべきなのかを学びたいと思ったからです。
・以前学習障がいを持つ学生を受け入れたことがあり、その際何の知識もなかったため、適切に対応できなかったように感じた。今回、基本的なことから学びたいと思い参加した。
・ゼミ(3年生)の学生の中で発達障害の疑いのある学生と対人関係の苦手な学生(自ら声を出して発表できず、他の学生との交わりのない状況)があり、ゼミを運営する方法、当該学生への合理的配慮と他の学生との公平性の問題の悩みがあるため参加させていただきました。
・大阪の大学の皆様との交流、情報交換のため。
・SDGs教育のため。

4. 本サロンについて

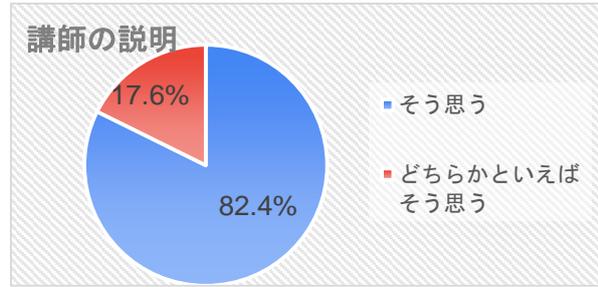
内容について満足している

そう思う	25
どちらかといえばそう思う	9
どちらかといえばそう思わない	0
そう思わない	0



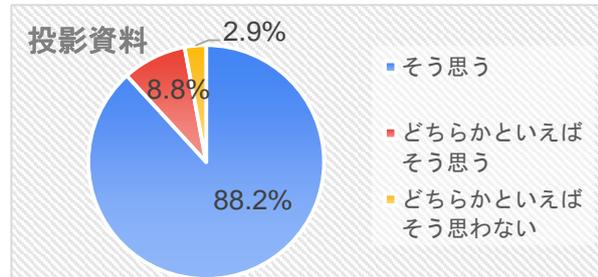
講師の説明は分かりやすかった

そう思う	28
どちらかといえばそう思う	6
どちらかといえばそう思わない	0
そう思わない	0



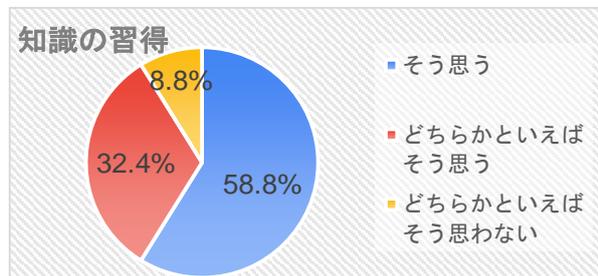
提示された(投影)資料は分かりやすかった

そう思う	30
どちらかといえばそう思う	3
どちらかといえばそう思わない	1
そう思わない	0



自分に必要な知識を身に付けることができた

そう思う	20
どちらかといえばそう思う	11
どちらかといえばそう思わない	3
そう思わない	0

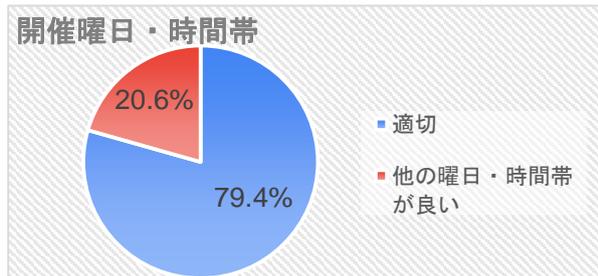


5. 開催曜日・時間帯について

適切	27
他の曜日・時間帯が良い	7

【具体的に】

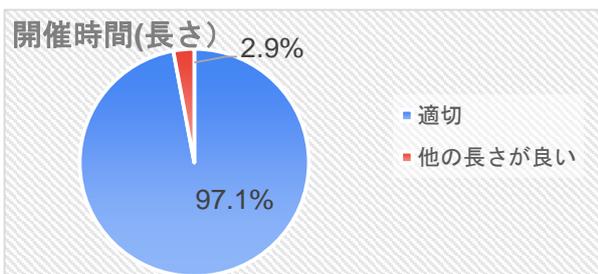
- ・開始時刻がもう少し早い方がよい。
- ・昼間のほうが参加しやすいです。
- ・授業がない時期の平日の日中
- ・土曜日



6. 開催時間(長さ)について

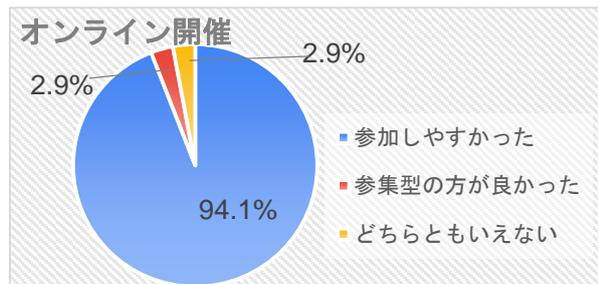
適切	33
他の長さが良い	1

- ・平日の夕方は、勤務時間に支障なく参加できてよかったが、やはり時間が短い。土曜日などでもう少し長い時間を設定してもよい。



7. オンラインでの開催について

参加しやすかった	32
参集型の方が良かった	1
どちらともいえない	1
その他	0



8. 参加して良かったと思われる点

・合理的配慮についての理解が深まった。
・合理的配慮等の障害学生支援について、再確認することができた。
・大学における発達障害者への対応や考え方を知ることができた。
・障害者教育の最先端現場からの状況が理解できた。
・個人への支援と環境調整という二つの概念、あるいは側面があるとわかったこと。
・合理的配慮の本来の意味を知ることができたこと。サポートとリソースの両輪だということを知ることができたこと。
・障害のある学生への支援において学生個人への「サポート」と大学組織としての「リソース」の側面（修学支援、他）について学んだことです。また相互発達障害のある学生の特性（自分にどのようなニーズがあるかわからないこと）、および発達障害のある学生への支援で学生本人が自己認識を高めていくような支援が求められること（障害の特性の理解、自分自身をマネジメントしていく能力、環境との相互作用）を学ばせていただき、良かったです。
・昔に比べアクティブラーニングなどが増えたことによって発達障害の学生が多く見えてきたことや、発達障害の学生本人が認識していないことがどのように今後本人を苦しめる状況になるのかなど、具体的に知ることができた。考え方が変わった。
・学生が何に困っているのか？ということ、大学における合理的配慮の考え方について重要なポイントを提示していただいた。
・支援としても一概に何でも支援をすれば良いものではないと改めて認識することができた。
・オンライン授業での対応を知ることができたこと。情報交換会でより詳しいお話を聞くことができたこと。
・村田先生の講義と質問に対する回答が大変わかりやすかった。
・村田先生のご講演の内容（と迫力）、情報交換会でやり取りされた情報の密度。
・内容が豊かだった。
・今回の村田淳先生のご講演で発達障害のある学生への支援は教職員への支援にもなっている事に気づかされた。
・実際の対応方法とは内容が異なりましたが、大学としてどう取り組むべきか基本的な姿勢が話されていたので、そこは非常に参考になりました。大学として取り組むことが選択肢ではなく、義務であることは、大学全体で共有すべきだと改めて感じました。
・対応として個々の対応力も必要ですが、大学全体で取り組み、平準的な対応方法は大学全体で取り組む必要性があると思いました。
・村田先生の実践が具体的で非常に分かりやすかったです。私たちは就労支援・自立支援のフェーズを担う役割で、先生方とは異質な立場にあるのですが、社会参加の段階でつまづく若者たちと非常に多く出会います。（高学歴であっても）社会全体の合理的配慮を進めるために資源の共有を含めて多機関の連携を進めていけるといいなと思いました。
・発達障害にかかわる支援環境の変化が早く、基本的なことを理解しないまま対応する危険があり、整理することができました。
・発達障害の基本的な知識と京都大学のガイドブックを知ることができた。
・オンライン開催は身体移動がないため、参加しやすいです。また、私大非常勤講師の私にも参加できる場であり、職位にかかわらず学べる点がありがたかったです。
・オンラインかつ平日夕方ということで、参加条件のハードルが低かった。

9. 本サロンをより良いものとするための提案

・基礎や根本を飛ばした応用のような講義だった。専門的なワードの説明をもう少ししてほしかった。
・ディスカッションにももう少し力を入れるべき。消化不良気味とを感じる。
・チャットを活用する。資料を投げるだけでなく、オンタイムの質問や参加者同士の意見交換ができるような工夫もすればいいのではないか。そのためには講義の進行がもう少しゆっくりのほうが良いが、やはり情報に対して時間が短かったのかもしれない。
・参加者に事前に宿題を課しておく、より充実したものになる可能性があるかもしれない。
・発達障害のある学生の修学支援の具体事例(演習での討議、実験実習の手順・グループワーク、評価の仕方などの工夫点)のTipsをe-learningで学べる研修会の企画をお願いしたい。
・今回、たまたま講師控室でチラシを見かけ参加しました。今後はメーリングリストなどでもお知らせいただけると(このご時世、自宅からの非対面授業が多く、大学へ出講する機会も減りますので)嬉しいです。
・今回のようなオンラインを今後も取り入れて欲しい。
・Zoomでやられるのであれば、投票機能等を使って、参加者が態度や意見を出しやすくなるような仕掛けがあっても良いかもしれませんが(そもそも各参加者が反応機能で『拍手』や『ハート』等を適宜出せばよいのですが)
・オンラインで参加できることで、参加がしやすくなった。学生、大学関連で、色々な分野での講演があれば時間の許す限り参加してみたい。

10. 今後、当サロンで取り上げてほしいテーマ

・今回の内容で基礎が分かっている方向けに、より発展的な内容の話を取り上げてほしい。自立支援(就活)の話もぜひおねがいします。
・多様な学生(発達障害、精神疾患、メンタル不調など)の学びと教育について。
・思考・行動特性に偏りのある学生がオンライン授業で直面する問題への支援方法について。
・精神障害。
・学生のウェルビーイングとモチベーションを高める教育・支援について。
・学生のコミュニティ形成とサポート方法。大学で職員業務の補助を行う学生スタッフの育成(学生スタッフのジェネラルな研修や必要なスキル、自身の身の守り方等。一般の社会人基礎力研修と大学における必要事項は重なる部分もあるが、そのままでは使えないため。)
・日本以外の国・地域出身の学生に対する修学上の支援体制。
・コロナ禍でのオンライン授業の取り組み、この状況が続いた時に大学として取り組めること、日本の大学の教育の質保証、大学のブランド構築、少子化がどれぐらい大学の存続に影響しているのか(実態について)。
・大学教育の質向上。
・教職員のモチベーションを高める支援策や取り組み等があれば聞きたい。
・アカデミックハラスメントに関すること。
・難民支援のあり方。

11. 上記以外の感想や意見

・とても有意義な研修会でした！
・大変勉強になりました。ありがとうございました。
・学内ではあまり研修がないため、本日の内容は大変勉強になりました。今後も引き続きこのような内容に取り組んでいただけますと幸いです。
・この度は、突然参加させていただきましてありがとうございました。神戸にある大学にとっては、大阪の大学関係者の皆様との関わりの場は貴重です。また、機会があれば参加させていただければ幸いです。
・大変勉強になりました。今回学んだことを本学の学生課にシェアしようと思います。
・本講演会では、障害者学生を中心に、機関、教職員の姿勢が主であったが、障害者学生と一番長く接触している周囲学生のあり方について、学習したい。
・前の仕事が伸びてしまったことと、緊急事態宣言の時短営業の関係で遅れての参加、懇談会に参加できなくなってしまったのが残念です。